

夏休み親子防災教室

さくらピア 車いす生活のお話など

豊橋市東新町のさくらピア（豊橋市障害者福祉会館）は22日、「夏休み親子防災教室」車いす生活のお話と防災ゲームを開いた。市内の小中学生とその保護者ら9組計21人が参加した。

1時間目は「車いすの暮らし」。車いすユーザーでさくらピア相談室ピアカウ

ンセラーの近藤憲美さんが講師となり、車いすで一人暮らしをするための工夫やバリアフリーについて、動画を使って紹介した。

2時間目は防災ゲームとして体育館に移動し、段ボールベツドを組み立てる速さを競うゲームや、非常持ち出し袋の中身を考える「防災釣

りゲーム」を行った。釣りゲームでは、子どもたちは車いすに乗り、食料品や貴重品、懐中電灯などを模したフェルトのおもちゃの中から、必要だと思つたものをマグネットで釣り上げていた。

母親と参加していた羽田桃子さん（中3）は、「以前から障害者の暮らしに興味があり、良い機会な

防災釣りゲームを行う親子（さくらピアで）

ので参加した。まちで車いすの人に出会ったら力になりたい

と改めて思った」と感想を話した。

（原田ひとみ）

